



唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

“ 奉仕を通じて平和を ”

RI会長
田中作次
2570地区ガバナー
鈴木秀憲

重点課題は奉仕の追求

第 2529 例会 2013.2.6

—— 世界理解月間 ——

天候 雪・雨 (NO. 49-32)

会長 安藤泰雄 幹事 島田秀和

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 半田君、服部君

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 安藤会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 大野職業奉仕委員
- ・卓話 黄熙様 王珊珊様 韓克臣様
呉慶美様 張文雅様

【会長報告】

1/30中里(昌)実行委員長の下、第1回50周年実行委員会が開催。山川副会長の年度に盛大な式典が催されます。

昨年末、駿河台大学留学生日本語スピーチコンテストで優秀なスピーチをされた5名の方に本日はお出かけ頂いています。

【幹事報告】

- ・2月ロータリーレート1\$ = 88円
- ・IM資料配付。3/9点鐘13時半。現地集合。終了後は飯能での懇親会は無し。狭山での交流会(17時半~19時)にご参加下さい。
- ・第9回役員会開催。3月プログラム承認。小久保会員の休会届は、定款細則第11条「出席義務規定の免除」を適用する事で承認。

◎例会変更のお知らせ

◇狭山RC

- ・2/15(金) 2/12(火) 狭山市内3クラブ
合同例会に振替
- ・3/8(金) IMに振替
- ・3/29(金) 例会休会 (定款6-1-C)
- ・4/19(金) 4/20・21 地区大会
- ・5/3(金) 例会休会 (定款6-1-C)

【委員会報告】

◎出席委員会 中里(忠)君

IMは今回、全員登録。どうしても参加出来ない方は2/13までに当委員会までご報告を。

◎職業奉仕委員会 大木君

2/3 国立女性教育会館でセミナー開催。

『我等の生業 第2集』第1~5グループの各代表が講演。第1G、歯科医の女性会員のお話に感動。高校生の発表もあり有意義なセミナーでした。委員会予算で冊子は配付します。

◎西中野球部(全国大会出場)への寄付について

市川(昭)君:飯能西中学校野球部は昨年8月、県で優勝、関東大会で山梨県代表に勝ち全国大会出場となりました。出場32校中、開催地静岡4校、他県28校の1つに勝ち上がったわけです。開校40数年以来初で、父母会で10千円の寄付を募集中。よろしくお願ひします。

【出席報告】無断欠席なし 川口出席委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
54名	6名	48名	88.89%	81.48%

【M U】

2/1(狭山) 土屋(良)君

2/4(地区) 大木君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・本日は駿河台大学の堀江主任はじめ5人の発表者の留学生の皆さんようこそ!素晴らしいスピーチ期待しております。有難うございます。

新井君、藤原君、矢島(高)君、中里(昌)君
市川(洋)君、安藤君

- ・本日は雪の中での出席有難うございます。帰る際はケガをしないようお帰り下さい。 安藤君
- ・早退 吉島君、吉田(武)君

本日計 7,000 円、累計額 767,610 円。

◎13日例会当番は細田(吉)、石井会員です。

【卓 話】

講師紹介

新井国際奉仕委員長

昨年11/8に開催されたコンテスト入賞者による恒例の講演です。都合で「飯能ロータリークラブ賞」を受賞された方がお見えでないのですが、優秀な方5名に来て頂いています。

(国際交流課主任) 堀江美代子様

本日はお招き有難うございます。留学生にこのような素晴らしい機会を与えて下さり感謝申し上げます。また、米山記念奨学金で本学留学生を採用頂き、御礼申し上げます。約4100名の学生中、約130名が留学生。中国、韓国、コートジボワール、ネパール等の留学生が日本語の勉強を一生懸命しており、能力を発揮する場として「コンテスト」を実施。毎回、飯能RC様よりご協賛を頂いております。

本日は昨年11月のコンテスト受賞者によるスピーチを披露させて頂きます。誠に失礼ながらドイツ・ミュンヘン大学の交換留学生は帰国のため欠席させて頂いております。

堀江様／王さんは日本語教師の夢を持っています。テーマは「
」です。

王様／皆さんこんにちは。王珊珊(オウ サンサン)と申します。よろしくお願ひします。これからお話するテーマは、私が見た日本の電車についてです。

「まもなく飯能、飯能です。飯能駅に到着致します。お忘れ物の無いようご注意ください。」

駅の放送を聞いて「ああ良かった。ようやく到着した」と思いました。初めて日本に来た私にとっては日本の何もかもが新鮮に感じられます。それでも、ここから電車に乗った

時、本当にびっくりしました。東京では電車に乗らないとどこにも行けないという話を聞いた事がありますが、それ程に混み合う状況は信じられませんでした。混雑は電車についての第一印象です。電車のドアが開くと、可愛い女子学生とか、きちんとした身なりをしているサラリーマンとか、子どもと一緒に主婦とか、皆、サッと電車に乗ります。信じられない位混んでいるので自分の力が立たなくても倒れない程です。ぎゅうぎゅうした電車の中が皆さん…のようになりながら平気な顔をしているのです。苦しいけれども我慢している顔を見ていて、私はこらえきれずプツと吹き出してしまいました。

私が関心したのは電車の中が静かな事です。70%位の乗客は目を閉じて居眠りをしています。起きている人もマンガや新聞を読んでいるので本当に静かです。私は、電車に乗っている時寝ている日本人は、自分の目的地を通り過ぎてしまわないかと心配します。でも驚いた事は、目的地に到着するとちゃんと起きて衣服を整えて降りて行きます。すごいです。どうしてですか?まさか日本人の直感ほかの国の人より鋭いのでしょうか。静かな電車の中で電話をかけるなんて絶対認められないと聞きました。このような状況は私の国と全然違います。中国の電車の中で電話をかける人がたくさん居ます。

不思議なのは、電車の中でお年寄りが席に座らない事です。ある日、電車の中で私は、重いバッグを持ったお年寄りの方を見かけました。私は「どうぞ座って下さい」と言いました。ところがその方は「いいえ、私は若いです」と言って、いくら苦しそうでも座りませんでした。私の国は、席を譲られたお年寄りが「有難う」と言って座ります。でも、日本人は席を譲られた事を不愉快に感じるのでしょうか。皆さんどう思いますか?

電車に乗ると、面白い日本の文化に触れる事が出来ます。中国で日本語を勉強しているだけでは分からない事が日本に来て分かりました。「日本に来て良かった」と思いました。

堀江様／黄さんは今月で留学期間を満了し帰国する予定。今年から始まった「飯能しゃべり場」でも大いに活躍してくれています。黄さんの好きな日本語は「手のひら」だそうです。テーマは「
」です。

黄様／皆さんこんにちは。韓国から来た黄熙(ファン ヒ)と申します。

私がいろんな期待と楽しみを抱きながらここ飯能に来てからもう10か月が経ちました。今月いっぱい韓国に帰ることになりますけど、すごく淋しい気分で、今までを振り返ってみようと思いました。特に、交換学生プログラムに志望した時に、もっといろんな事を受

け入れられる人になれたらと思っていたので、今回それを中心にして発表したいと思います。

私はここで生活して感じた事が大きく2つあります。1つは、日本だけではなくいろんな国への理解が深まった事です。ここに来るまでは単純に、日本への理解が深まるだろうと思っていたのですけれども、日本語の授業を一緒に取っているドイツやスロバキア、中国などのいろいろな学生達との話を通じて、例えば、中国人はご飯の代わりに餃子を食べるとか、ヨーロッパ人は水より普段、炭酸水を飲むとかの話をしながら、自分の知っている世界が広がる感じがしました。

もう1つは、人との付き合いの幅が広がった事です。韓国に居た時は同じ大学生との交流がほとんどだったのですが、ここに来てからは、外国人という立場だったからなのか、いろいろな年代の方とも会える機会がありました。韓国にずっと居たらたぶん絶対経験出来ない事だし、特に、両親より年上の方とも会える機会があったのですが、その方たちからの「何かを得るためには何かを諦めなければならない時もあるのよ」みたいなアドバイスもされてて、今までとは…広い視野で周りの事を見るようになったと思います。

以上の2つの事を通じて、日本に来る前と比べて今の自分が見ている世界はもっと広くなったと思います。今月で帰りますけど、帰ってからももっとオープンな人になって生きていきたいなと思ってます。

堀江様／張さんの好きな言葉は「学問には王道なし」。テーマは「私が感じた日本のトイレ」です。

張様／皆さんこんにちは。中国からの交換留学生の張文雅(チョウ ブンガ)と申します。初めまして。よろしくお願ひします。

これから、日本のトイレについて私が感じた事を発表させて頂きます。

まず、私が私の耳で聞いた日本のトイレの話をしたいと思います。私は中学生の時、日本のトイレについての話を聞きました。それは、大学卒業後、帝国ホテルに就職したある女性の話です。その女性は最初やった仕事はトイレ掃除だったそうです。お嬢様として育てられた彼女は最初、トイレに入ると気分が悪くなってしまいました。でも、男性の先輩が、自分が何回も掃除したトイレの水を飲んでみせました。女性は感心して、プライドを持って自分が何回もきれいに掃除したトイレの水を飲んだ事までであるという話です。その後、私は「日本のトイレは何ときれいなものだろう。絶対日本のトイレを見てみよう」と思っていました。

ところで、去年の9月4日に私は日本へ留学に来ました。駿河台大学に来てから、ある日、友だちと一緒に遊びに行く前に私は学生寮の1階のトイレに行きました。用を済ませて水

を流そうとした時、目の前にはボタンが10個位あって、どちらを押せばいいかが分からなかったです、その時。私は試しに1つのボタンを押すと水が流れる音が聞きました。私はもう一度、赤い非常ボタンを押して、ザーッと大きな声で、私はびっくりしました。やばい、何か壊れちゃったの？しばらく後で、…の職員さんが来ました。私は恥ずかしくて「すみません、トイレの使い方を教えてもらえませんか」ときいて、職員さんはとても親切で、助けてくれました。その後、私はトイレに入る度に、ちゃんと施設を見て、恥をかかないように利用します。

その後は私は毎度日本のトイレに入る度に感心した事があります。それは、お年寄りには手すり、若い母親には授乳室を設置してあります。そして若い女性には化粧室も設置してあります。どんな小さなニーズでも1つ1つ応えるし、どんな人でもトイレを利用出来る感じがしました。今、私は日本に来てからもう5か月位経ちました。日本のトイレに行く事が楽しい事になりました。

堀江様／呉さんの好きな言葉は「我慢」と「頑張ります」だそうです。テーマは「素晴らしい日本のお年寄り」です。

呉様／皆さんこんにちは。私は呉慶美(ゴ ケイビ)と申します。発表するテーマは「素晴らしい日本のお年寄り」です。どうぞよろしくお願ひ致します。

10月10日の事です。私は初めて「店蔵絹甚」という所でボランティア活動に参加しました。それは「つるし雛」を作る事でした。ボランティア活動場所に着いた時、びっくりしました。何故かと言うと、そこに居たのはお年寄りばかりだったからです。私が部屋に入ると、おばあさん達は挨拶もそこそこに席を譲ってくれました。とても元気なおばあさん達と会えて嬉しくなりました。

挨拶が終わってよいよ活動が始まりました。あるおばあさんが糸通しの使い方を教えてくれました。私は「いいえ、大丈夫ですよ、手で通せますから」と言いました。するとそのおばあさんは大笑いしながら「君は若いからね。私はね、もう老眼になっちゃって、これが無いと駄目なのよ」と言いました。二人で笑ったせいか、なんだか会話も盛り上がり来て、私も気軽に話せるようになりました。

おしゃべりを通して、おばあさん達は週1回、このボランティア活動に参加している事を知りました。しかも一日中だそうです。私は「お年寄りだからちょっと疲れるんじゃないかしら」と思いました。しかし、つるし雛を作りながらおしゃべりをするお年寄りの幸せな顔を見ると、自分の考えがどんなにおかしいか分かりました。社会に役立つ事は最高の幸せ



(前列左から) 張様、黄様、王様、呉様、韓様

だということなのでしょう。お年寄りには更にそう思うことでしょうか。すごく感心しました。

もう1つの体験をお話したいと思います。この前、駿河台大学が主催する「中国語しゃべり場」でもボランティア活動をしました。60歳以上の方がたくさん来てくれました。なかには中国語がペラペラ話せる方も結構いらっしゃいました。ある方が教科書を用意していて、そんなに真面目な態度に、もう言葉で言い表せないほど感心しました。

中国のお年寄りは定年退職してから、大体、孫の世話をしたり、踊りを踊ったり、のんびりと生活をします。ボランティア活動をするなんて更に珍しい事です。たとえ政府が「終生勉強」つまり「一生勉強する事が大事だ」という事を呼びかけても、勉強するお年寄りはあまり居ません。日本のお年寄りは本当にすごいですね、と、私はそう思いました。

「高齢化」と言えば「日本」を思い浮かべます。社会的にはお年寄りは日本社会の負担になっているととらえられています。しかし私はそうとは思いません。正しい礼儀を教えてくれて、素晴らしい人生観や価値観を教えてくれたのはお年寄りなのです。お年寄りが居るからこそ社会がうまく回っていくのです。お年寄りはそういう大切な存在だと私はそう思います。これからもお年寄りに負けない位、元気を出して生きていきたいと思っています。

堀江様／韓さんの将来の夢は自分の料理店を開く事だそうです。テーマは「私から見た日本人」です。

韓様／皆さんこんにちは。私は韓克臣(カンコクシン)と申します。中国からの交換留学生です。今日は私から見た日本人についてお話したいと思います。では、始めます。

中国人と日本人は顔から見れば違うところがそれほど感じられません。黒い髪と黒い瞳、肌の色も同じです。また、日本文化は中

国文化から大きな影響を受けたため、日常生活のなかで漢字もよく使います。このように、顔から見ても文化から見ても共通点が多い中国人と日本人は実はさまざまな違いが存在します。

文化は国によって違います。日本の文化はほかの国に比べてとてもユニークです。私から見て、日本人には次の3つの特徴があるように思います。

1つ目は、日本人の人間関係です。日本人はよく相手の気持ちを考え、相手の立場を考え、本当の気持ちを直接に口に出そうとはしない事です。それに対して中国人は自分の気持ちを隠さず、好きと嫌い、賛成と反対などははっきり言います。でも、両方の性格にはいいところもありますし悪いところもありますので、中国人の性格と日本人の性格、どちらが良い、悪いとは言えません。これは、この2つの民族の性格の特徴であり魅力でもあるからだと思います。

2番目は日本人は上の人によく従う事です。いつも後輩は先輩に「はい、分かりました」「かしこまりました」と言います。日本では上司から指示を受けた時、それが実は自分の業務範囲でなくてもやる場合がほとんどです。反対に、中国では効率を考え、基本的に自分の業務範囲でなければ実行する事はあまりありません。たぶん文化の影響で両国の人には事に対しての態度が違うのだと思います。

3番目の特徴は真面目でよく働く事です。毎日、社員は夜遅くまでオフィスに居ます。早く家に帰る事は恥ずかしい事だと思っています。皆が夜10時まで働いている国は日本だけだと思います。

これは私から見た日本人の特徴ですが、まだ日本に来て5か月ですからこれは全てではないと思います。これからもいろいろな日本人の特徴を見ていきたいと思っています。

平成25年3月のプログラム
(月間テーマ 識字率向上月間)

月 日	例会数	行事予定	当 番 [担当委員会]
3. 6	2,533	卓話「大道芸」 (南京たますだれ等) 野村輝史(天光)様	神田(剛)君 木川君 [プログラム]
3.13	2,534	3.9 IM振替日	
3.20	2,535	例会取消 (法定休日)	
3.27	2,536	日高RCとの合同夜間例会 於: ホテル・ヘリテイジ飯能sta.	小 崎 君 小谷野君 [親睦活動]

※次週の例会案内は省略。